

整形外科

責任者・コーディネーター	整形外科講座 土井田 稔 教授				
担当講座・学科（分野）	整形外科講座				
担当教員	土井田 稔 教授、村上 秀樹 特任教授、田島 吾郎 特任准教授、佐藤光太郎 講師、丸山 盛貴 講師、菅原 敦 講師、三又 義訓 特任講師、山部 大輔 助教、大竹 伸平 助教、及川 伸也 助教、村上 賢也 助教、及川 龍之介 助教				
対象学年	4	区分・時間数	講義	17コマ	25.5時間
期間	前期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	0コマ	0.0時間

・学習方針（講義概要等）

整形外科は、身体の姿勢および運動器（骨・関節・靭帯、筋・腱・腱鞘、脊髄・馬尾・末梢神経、血管）に関する臨床医学である。すなわち、機能解剖と運動生理の理解に基づいて、運動器の疾病・外傷の病因・病態と診断・治療法を究明する学問である。診断・治療法には放射線学的・病理学的・神経学的・一般外科学的手法も必要であり、新生児から高齢者まで、また、頸部・体幹から上・下肢までと守備範囲は広い。そして治療法も外科療法のみならず、装具療法や運動療法を含む保存療法も大きな比重を占めている。運動器の医学・医療をもって、健康と社会への貢献を目指すことが基本理念である。

・教育成果（アウトカム）

運動器病学（整形外科）の基本的な疾患の知識を学習し、診察法や検査法の原理と原則を学習することにより、一般臨床医としての知識が形成される。また、外傷学の基本的知識と技術を学習することにより、専門の枠を脱し、一般臨床の現場におけるプライマリーケアについて説明できる。高齢化社会において健康寿命を延ばすことは、重要な課題であり、運動器疾患の診断、治療、予防を学習することにより、地域医療に貢献できる医療人の礎が形成される。

(ディプロマ・ポリシー: 1,2,3,4,5,6,7,8)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	運動器の構造と機能を説明できる。
2	運動器疾病・外傷の診断・治療における病歴（主訴、現病の経過・治療歴、合併症、既往症、家 家族歴、職業歴、スポーツ歴、外傷歴など）の重要性を説明できる。
3	歩行・姿勢・肢位の異常（跛行・変形など）を、疾患・治療法と関連づけて説明できる。
4	四肢長・周径、関節可動域（ROM）の測定について説明できる。
5	神経学的診察法（徒手筋力テストMMT、表在・深部反射、病的反射、表在・深部知覚検査、症状誘発・寛解手技など）の実施と意味の説明ができる。
6	画像検査（X線、CT、MRI、ECHO、骨シンチ、各種造影など）、電気生理学的検査（筋電図、神経伝導速度など）、関節鏡検査、生検の意義を列挙し説明ができる。
7	運動器疾患の保存療法、外科療法、リハビリテーションの概要について説明できる。
8	運動器の外傷に対する診断・治療・管理の概要について説明できる。
9	骨・関節・靭帯、筋・腱・腱鞘の炎症の原因・病態（急性、慢性、特殊性）と診断・治療の概要について説明できる。
10	新生児・乳児・小児疾患の初期症状、病因・病態、診断・治療の概要について説明できる。
11	加齢変性に起因する疾患の病態と治療の概要について説明できる。
12	骨・軟部腫瘍の診断・治療・予後の概要について説明できる。
13	スポーツによる運動器外傷・障害の診断・治療の概要について説明できる。
14	職業による運動器傷病の診断・治療の概要について説明できる。
15	緊急検査、緊急手術を要する疾病・外傷の診断・治療の概要について説明できる。

・講義場所

講義：東1-D講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	4/5(金)	1	整形外科学講座	土井田 稔 教授	整形外科学総論 運動器疾患の診断と治療	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,14
講義	4/5(金)	2	整形外科学講座	佐藤 光太郎 講師	肘関節・前腕の疾患・外傷	9
講義	4/5(金)	5	整形外科学講座	大竹 伸平 助教	関節リウマチと類似疾患	2,6,7,8,9,11
講義	4/11(木)	5	整形外科学講座	大竹 伸平 助教	骨盤・股関節・大腿の疾患・外傷	2,7,9,10
講義	4/12(金)	1	整形外科学講座	田島 吾郎 特任准教授	スポーツ障害・外傷 総論	8,13
講義	4/12(金)	2	整形外科学講座	田島 吾郎 特任准教授	スポーツ障害・外傷 各論	7,8,13
講義	4/12(金)	5	整形外科学講座	三又 義訓 特任講師	骨腫瘍	2,6,7,12
講義	4/15(月)	5	整形外科学講座	三又 義訓 特任講師	軟部腫瘍	2,6,7,12
講義	4/19(金)	1	整形外科学講座	菅原 敦 講師	足関節・足部の疾患・外傷	1,2,9
講義	5/17(金)	1	整形外科学講座	及川 伸也 助教	肩甲骨・肩関節・上腕の外傷・疾患	2,6,7,8,11
講義	5/17(金)	2	整形外科学講座	山部 大輔 助教	脊柱変形の病態と治療	2,6,11
講義	5/24(金)	1	整形外科学講座	及川 龍之介 助教	代謝性骨疾患、感染性疾患	1,2,3,4,6,7,8,11
講義	5/24(金)	2	整形外科学講座	及川 龍之介 助教	骨端症、小児整形疾患・先天異常	4,5,6,7,8,9,11,15
講義	5/31(金)	1	整形外科学講座	村上 秀樹 特任教授	頸椎疾患、脊椎・脊髄損傷	2,7,9,10
講義	5/31(金)	2	整形外科学講座	丸山 盛貴 講師	膝関節・下腿の疾患・外傷	1,2,6,8,9,11,13,14,15
講義	5/31(金)	5	整形外科学講座	村上 賢也 助教	手・手関節の疾患・外傷	1,2,4,8,13
講義	6/7(金)	1	整形外科学講座	村上 秀樹 特任教授	感染性脊椎炎、脊椎・脊髄腫瘍	1,2,5,8,9,13

・ 教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	標準整形外科学 13版	松野丈夫、中村利孝 総編集	医学書院	2017
参考書	整形外科学 改定4版	松下隆、福林徹、田淵健一 編	南江堂	2017
参考書	EXPERT膠原病・リウマチ 改訂第3版	住田孝之 編	診断と治療社	2013
参考書	実践アトラスでよくわかるスポーツ外傷・障害診療マニュアル	青木治人 編	全日本病院出版会	2005

・ 成績評価方法

<p>【総括評価】 進級試験成績（100％）で評価し、100点満点の60点以上を合格とする。</p> <p>【形成的評価】 小テストを実施して講義内容の理解度を確認し、その結果を学生にフィードバックする。 講義中の口頭試問および毎時間の講義内容等をまとめたポートフォリオを評価し、学生にフィードバックする。</p>

・特記事項・その他

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。
講義資料はWebclassで配信する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、PC、インターネット環境、コンピューターソフトウェア、模擬骨モデルなど

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	スキャナ透過原稿ユニット (ES-10000G)	1	学生講義用
講義	モノクロ複合機 (MF6570)	1	学生講義資料
講義	カラーレーザープリンター (LBP5900SE)	1	学生講義資料
講義	ノートパソコン一式 (MB062J/A)	1	学生講義用
講義	デスクトップパソコン (Elite 800 G1 TW)	1	学生講義資料
講義	カラー複合機 (iR-ADVC5240F)	1	学生講義資料
講義	カラー複合機 (Apeos C5570)	1	学生講義資料
講義	ノートパソコン一式 (R634K)	1	学生講義用